



こんにちは

村田 けい子

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。
移動事務所 090-9144-

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267 (56) 2868

2019.115
No226

「防火用水の流れ」の確保を！

西塩沢の住民の方から、「防火用水」への水流は確保しておかないといけないのでは?!」と問われ、その実際がどうなっているのか、案内していただいて調査しました。

西塩沢には防火用水が3か所あります。近くを流れる用水に隣接し、取水する構造となっていますが、この用水の水が台風19号以後、止まっています。

川をさかのぼって見に行くと、古町の取水口では、塩沢方面に水を取り入れる口付近が陥没して低くなり、本流の方にまとめて流れており、塩沢方面へは水が来られないようになっていました。さらに上流の荒井戸頭首工では、立科方面への水の入る口の手前で、深くえぐれ、取り入れ口までに20cmあまりの段差となって水が流れにくくなっています。

中尾地区では、道路が川のようになって、いまだに大きな石が道路の両側に散乱しています。道路側から芦田川に大量の土砂を巻き込んで、農地に流れ込み、川の擁壁を農地側から押し込んで、川に倒壊させた状況が見受けられました。川の水が農地に流れ込まないように作られた擁壁ですが、農地の方からの大量土砂で、何mにもわたってごっそりと川の方に倒れこみ、破壊されていました。台風がもたらした雨・土砂量がすさまじかったことを物語っています。

来年のお田植までには、こうした水路関係の修復を完了しなければなりません。来年の「もしも」の時の防火用水の水の確保のためにも、水路に水を流しておく必要があります。復旧を急ぐように、議会でも取り上げたいと思います。



芦田川から立科町・八重原方面など水を配水する「荒井戸頭首工」

立科町方面への水の入る口20cmあまりの段差があり、水が入ってこれない。



こちらに塩沢方面への↑取り入れ口がある。

古町にある取水口。手前に入り口があるが陥没しているため、水が流れてこない。



川の方に倒れた擁壁 (中尾地区)



台風19号で被害にあわれた皆さんに心よりお見舞い申し上げます。

「支援物資市」を開催。
11月16・17日
佐久情報センターに集合...ご連絡ください

神宿る美しさ

今週のパチリ



「芸術の秋」です。冠者神社は緑・黄・赤と色とりどりに色づき、グレーの鳥居や石灯籠が引き締め役。すっきり晴れた青空に映えており、日本の美しい秋の象徴です。絵心がない人でも自然の美しさに息を呑む。自然神のなせる業(わざ)。立科ではあちこちで堪能できます。

「絵葉書」の世界 —白樺高原—

蓼科地区の皆さんのお声を聴かせていただきたいと訪れた第2牧場付近。



PolePole (ポレポレ) さんの駐車場から望む牧場はカラマツやミズナラの木の紅葉に彩られ、葉を落としたイチョウの木が晩秋を物語って、「絵葉書」のような美しさでした。「だからここを選んだの」との言葉に納得。

「茅野・白樺湖・女神湖・佐久平へ抜ける一帯を確保してほしい！」

別荘に住む方からの切実な声、たくさん寄せられました。

11.12 山のお茶会



ポレポレさんをお借りして蓼科区の皆さんのご意見をお伺いするお茶会を開いていただき、別荘の方にご参加いただきました。やはり交通問題が大きな関心事で、様々なお声をいただきました。

・町役場から500円で山まで来られるが、300円にしてもらえると嬉しい。また、年間3000円ほどでシルバーパスを用意して、高齢者が普段は無料でバス利用ができるようにしてもらえば、もっと外出しやすくなる。

・昔は子どもたちが学校に通うときには、町がスクールパス（学童定期）を発行してもらい、無料で学校に通えた。今は人数も少なくなっているのに、無料にならないか。

・白樺湖・女神湖・長門牧場などから立科町を巡るバスを一日2便最低でもあれば、観光地に来たお客さんに、町を回ってもらえる。

・6～11月いっぱい白樺高原は美しい。滞在してもらうにはいいところだと思う。佐久平から女神湖・白樺湖を通り茅野駅まで通うバス便があれば、もっと多くの観光客が訪れると思う。別荘にも来やすくなる。車の運転がだんだん無理になったときに、バスがあれば、もっと立科町の別荘に行ったり来たりできる。友人も招きやすい。

・このところ猛暑で、軽井沢も暑くなっている。避暑地としての白樺高原をもっとアピールすれば、もっと多くの方に来てもらえそうです。

・分水嶺を歩くトレッキングコースなど、アイデアを出して多くの方に立科町の自然を感じてもらいたい。

・立科町のおコビレなど伝統食を作ったり紹介するイベントなどもあれば、観光客の方に楽しんでもらえるので、体験会をやったらどうか。



11.9(土) マイクロプラスチック学習会

開かれる。主催 立科町消費者の会
立科町老人福祉センター

海洋ごみが水生生物へ及ぼす影響



LITTERBASE
1,188の科学文献をもとに、2,249の水生生物種へ及ぼした影響（相互作用）の情報を地図化したデータベース

海洋ごみが水生生物へ及ぼす影響は世界中に広がっている。

結論としては、①プラスチックの生産そのものを減らす。②できる限り長期間利用し使い捨てを減らす③生産するものを何度も使えるリユース・リサイクルができるものにする。・・・などです。会場からは、「『容器包装』のプラだけでなく、製品そのものの回収・リサイクルも」や「何度も使えるリターナブル容器に」「中身を売るシステムを」など活発な意見が出ました。製造企業に「回収・再利用の責任を持たすべき」の意見もありました。

たくさんのご意見

ありがとうございます。

町政に反映させます。また、ご参加の住民の方はベトナムでの枯葉剤被害者の支援活動をされていたり、町が気に入って3年前に住民票を移したという方もいらっしゃいました。

別荘の方が来やすいように、また住みやすい町にしないといけませんね。

今話題の「マイクロプラスチック」。消費者の会がタイムリーに学習会を計画、私も参加しました。大量生産・大量消費の結果として、海洋中に流出するプラスチック。波や風・太陽の光などで分解され、5mm以下の小さなプラスチックが魚・鳥などに大きな被害を与えていることが報告されました。

秋のイベント



11.16(土)・17(日)8:00～
リンゴ・白菜・シクラメン・・・

菜ないろ畑の収穫祭

おいで菜祭

豚汁・餅つき・くじ引き



12.1(日) 食と農のつどい

10:00～

立科町老人福祉センター

